

Veritas™ Cluster Server for VMware ESX

Veritas Cluster Server は、業界をリードするマルチプラットフォーム対応のハイアベイラビリティソリューションです。このソリューションに Veritas Cluster Server for VMware ESX を導入することで、Veritas Cluster Server によって仮想マシン上のアプリケーションだけでなく、仮想マシンおよびサーバー自体の健全性が監視されるため、企業は VMware ESX Server 環境で、より高度なアベイラビリティを実現できます。使用プラットフォームやロケーションに関係なく複数の物理クラスタおよび仮想クラスタを 1 つのコンソールから管理できることにより、Veritas Cluster Server では、ローカルでも、リモートサイトのクラスタ間でも、仮想マシンのフェールオーバーを使用してディザスタリカバリを簡潔にし、自動化することができます。

ハイライト

- 距離に左右されない VMware ESX Server 環境のアベイラビリティ: ローカルクラスタとリモートクラスタを構築して、ローカルのアベイラビリティとディザスタリカバリを実現します。
- アプリケーションとリソースの監視: アプリケーションだけでなく、仮想リソースも監視し、より詳細なレベルの可視性と管理機能を提供します。
- マルチクラスタ管理とレポート: 物理環境および仮想環境で複数のローカルおよびリモートクラスタを、OS の種類に関係なく 1 つのコンソールから管理できます。
- VMware ESX Server の高度な機能の利用: VMotion および VMware Distributed Resource Scheduler (DRS)を認識し、それらとシームレスに機能します。
- ディザスタリカバリの自動化: 主稼働環境に影響を与えずに、フェールオーバーとレプリケーションの両方の構成をテストできます。
- 容易なインストール、構成、および保守: ウィザードの手順に従ってインストールやフェールオーバーのシミュレーション機能など、導入と管理が容易に行えます。

距離に左右されない VMware ESX Server 環境のアベイラビリティ

ローカルサイトでハイアベイラビリティを提供できるインフラを構築することによって、ビジネスのアベイラビリティ要件が多くこの点で満たされます。しかし、他の要件には、複数のロケーションを網羅するより優れた保護が必要になる場合があります。そこで Veritas Cluster Server という単一のツールを使用することで、企業はローカル(プライマリ)とリモート(セカンダリ)の両サイトにクラスタ環境を構築することで、完璧なディザスタリカバリ対策が可能になります。ローカルのデータセンターに配備されている単一サーバー間でのアプリケーションの移行も、数百キロ離れたデータセンターへのすべてのアプリケーションの移動も、ボタンをワンクリックするだけで実行できます。

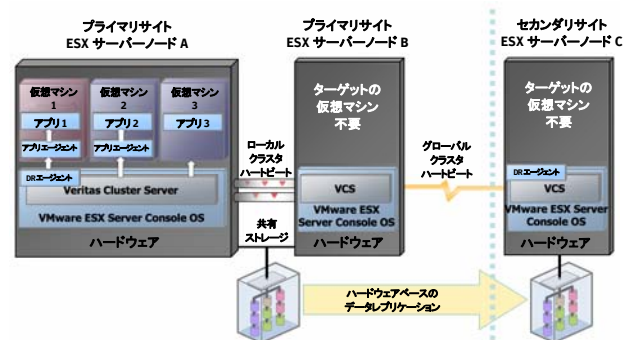


図 1. ローカルでもリモートでも、距離に左右されずにアベイラビリティを管理できる VCS for VMware ESX

アプリケーションとリソースの監視

アベイラビリティの高いシステムを管理するためには、物理サーバーだけに限らず、仮想サーバー内にある仮想コンポーネントも監視することが不可欠になりました。Veritas Cluster Server は、仮想リソース(仮想NIC、ストレージ、サーバー、アプリケーション、スイッチ、IP アドレス)のステータスを監視するだけでなく、リソース間の依存性も考慮します。それにより、どんな種類の障害が発生しても仮想サーバーのフェールオーバーが正しい順序で自動的に実行されるように、必要なアクションがVeritas Cluster Server に指示されます。この機能は、リソースが物理的に存在せず、仮想的にリンクしている環境では特に重要です。Veritas Cluster Server によって、仮想環境を稼働させるメリットが最大化できると同時に、管理者は、物理環境を管理するのと同じように仮想環境と物理環境を混在させて管理することができます。

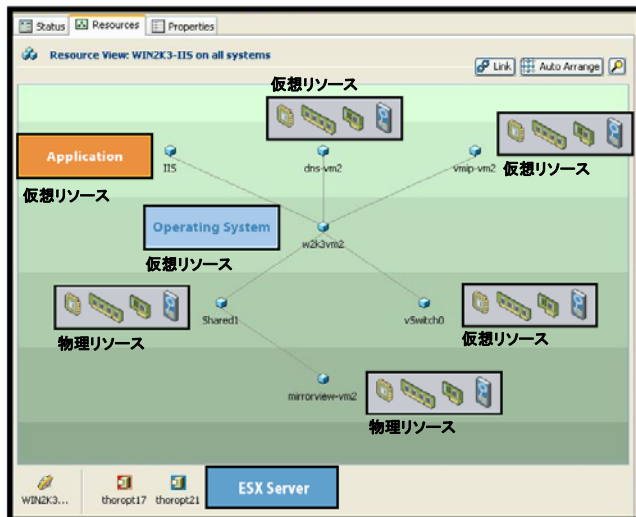
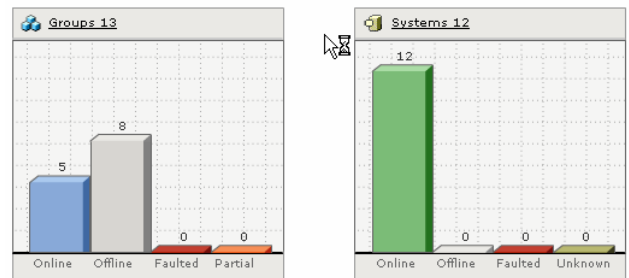


図 2. VCS は仮想リソースと物理リソースの依存関係を維持し、サービスグループとして管理する

マルチクラスタ管理とレポート作成

増え続けるアプリケーションと、さまざまなプラットフォームで構成されるクラスタサーバーが複数のデータセンターに分散している場合、その管理は容易ではありません。しかし、Veritas Cluster Server のクラスタ管理コンソールを使用することにより、管理者は、仮想マシンまたは物理マシンを問わず、さまざまなプラットフォーム上の Veritas Cluster Server 実装を単一の Web ベースのコンソールから監視、管理、およびレポートできるようになります。



Clusters, Groups & Systems Summary

Clusters		Groups		Systems	
Online	6	Online	5	Online	12
Offline	0	Offline	8	Offline	0
Coming Up	0	Faulted	0	Faulted	0
Unknown	0	Partial	0	Unknown	0
Total	6	Total	13	Total	12

図 3. クラスタ管理コンソールからすべてのクラスタとサーバー、およびそれらのステータスを表示

Veritas Cluster Server の管理機能を使用すると、管理対象クラスタの可視性が高まり、グローバルアプリケーションの管理が一元化され、各アプリケーションのアベイラビリティのステータスがすべてレポートされるため、管理者の業務効率が向上します。Veritas Cluster Server はまた、管理者がクラスタ構成の一般的ミス回避し、予期しない変更を監視できるようにすることで、アプリケーションのダウンタイムを短縮します。また、管理者がクラスタ障害を検出して調査し、すべての管理対象クラスタの管理履歴を追跡するための標準手段を提供します。

VMware ESX Server の高度な機能の利用

VMware に VMotion および Distributed Resource Scheduler (DRS) が実装されたため、移行のためのダウンタイムを設けることなく、仮想サーバーを他の物理サーバーに移行することができます。VMware プラットフォーム向けのハイアベイラビリティソリューションである Veritas Cluster Server は、これらのシステム全体に適用される動的な「調整」を完全に認識し、それに応じてクラスタのステータスを更新できることから、VMware のワークロード最適化機能とシームレスに連動します。企業は、Veritas Cluster Server 管理ツールを単一制御ポイントとして使用して、VMotion の移行の開始や VMware 固有のタスクの実行を一元的に操作できます。それと同時に、すべてのクラスタノードが、Veritas Cluster Server for UNIX、Linux、および Windows® によって実現されるハイアベイラビリティとディザスタリカバリのプロテクションと同じレベルで管理されることを保証できます。

ディザスタリカバリテストの自動化

データセンターのサーバーとアプリケーションは絶えず変更されるため、企業は、システム全体またはサイト全体の障害が発生した場合に確実にリカバリが成功するように、定期的にディザスタリカバリシナリオをテストする必要があります。ディザスタリカバリの成功をより確かなものにするために、Veritas Cluster Server には、DR テストの所要時間とコストの削減を可能にする、自動化された「Fire Drill」機能が組み込まれています。Veritas Cluster Server は、市場をリードするディザスタリカバリソリューションに自動テスト機能を統合した唯一のソリューションです。これからは、システム管理者が IT インフラを頻繁に変更でき、その変更をリモートサイトでも同時に反映させることができます。さらに、これらの Fire Drill 機能は稼働中のアプリケーションを中断しないため、必要に応じて頻繁に実行できます。

インストール、設定、および保守が容易

Veritas Cluster Server は、管理者のために使いやすい設定ウィザードを提供して、ストレージ管理とクラスタの実装を容易にします。クラスタの設定はこれまでになく簡単になりました。ウィザードを使用することで、新規および既存の仮想サーバーのセットアップが簡単になり、ディザスタリカバリ機能を含むハイアベイラビリティを実現できます。Veritas Cluster Server ウィザードには、オンラインボリュームの拡張、クラスタ構成のための共有ストレージの構成などを実行するストレージ関連機能もあります。仮想サーバーの保守は、アプリケーション、仮想サーバー、ストレージ、およびその他のリソースをワンクリックで管理できるようなサービスグループフレームワークを使用したり、ゲスト OS のパッチツールを使用したりすることで容易に行えます。

製品に関する最新の情報

シマンテックの Web サイトをご覧ください。

www.symantec.com/jp/datacenter